



「SDGs 未来都市」 岐阜県

～ 清流の国ぎふ SDGs取組み事例 ～

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

- 知 清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます
- 創 ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます
- 伝 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

お問い合わせ先

岐阜県 清流の国推進部 清流の国づくり政策課

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1
TEL:058-272-1840(直通) FAX:058-278-2562
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/26370.html>

2021年1月発行



「SDGs 未来都市」 岐阜県

～ 清流の国ぎふ SDGs取組み事例 ～



「清流の国ぎふ」
マスコットキャラクター
ミナモ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



岐阜県

「SDGs(エス・ディー・ジーズ)」とは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残されない(no one will be left behind)」ことを誓っています。

※SDGsロゴおよびアイコンの使用については、
国連によりガイドラインが定められています。
参考:国連広報センター <https://www.unic.or.jp/>



「SDGs未来都市」とは

国の政策の一つであり、2018年から内閣府が、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定しています。

岐阜県は、2020年7月、「SDGs未来都市」に選定され、同年8月に「岐阜県未来都市計画」を策定しています。※P14参照

目次

- 1-2 SDGsとは
- 3 SDGs達成に向けた岐阜県の主な取組み
- 4 身近にできるSDGsの取組み
- 5-10 取組み事例(企業・団体)
- 11 取組み事例(教育機関)
- 12-14 取組み事例(自治体)

SDGs17の目標(ゴール)

参考:総務省ウェブページ



1 貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



2 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



4 質の高い教育をみんなに

全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う



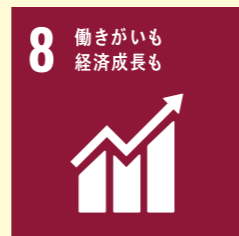
6 安全な水とトイレを世界中に

全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



8 働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



10 人や国の不平等をなくそう

各国内及び各国間の不平等を是正する



11 住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



12 つくる責任 つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



14 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



15 陸の豊かさを守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



17 パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

SDGs達成に向けた岐阜県の主な取り組み

県では、「一人ひとりの幸せと確かな暮らしのあるふるさと岐阜県」の実現に向けた政策の方向性を示す『清流の国ぎふ』創生総合戦略(2019~2023年度)を策定しています。この計画にSDGsを推進する旨を明記し、その達成に向けて「人づくり」、「地域づくり」、「魅力と活力づくり」の3つの柱に取り組むことにより、持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを目指します。



<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/20073.html>

I 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

- **女性の活躍推進** ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定
- **障がいに関わらず活躍できる環境の整備**
「岐阜県障がい者総合就労支援センター」の開所
- **外国人材の活用促進** 外国人への日本語教育機会の提供体制整備
- **ぎふ木育の推進** 「ぎふ木遊館」の開館による木育の展開



II 健やかで安らかな地域づくり

- **SDGsへの理解醸成と推進体制の構築**
推進組織の設置のほか、フォーラムやセミナー、地域情報誌による広報の実施
- **貧困からの脱却支援** 子ども食堂の運営などに係る助成制度の拡充
- **地球温暖化対策の推進**
岐阜大学との共同による「岐阜県気候変動適応センター」の開設
- **防災対策の推進** 防災意識向上のための県民運動の推進



III 地域にあふれる魅力と活力づくり

- **「清流長良川の鮎」の持続的な発展**
長良川システムへの理解と関心を深めるふるさと教育の支援
- **SDGsを視野に入れた観光振興**
世界に認められる岐阜県版サステイナブル・ツーリズムの推進
- **Society5.0に対応する産業競争力の強化**
「IoTコンソーシアム」を核とした先端技術の導入促進
建設現場に即したICTコーディネーターの派遣



身近にできるSDGsの取り組み

SDGs達成のためには、私たち一人ひとりが身近な社会問題を「自分ごと」として捉えて行動することが大切です。小さな行動の積み重ねが目標達成への大きな力となります。できることから始めてみましょう。



<p>1 貧困をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •募金をする •子ども食堂に食べ物を寄付
<p>2 飢餓をゼロに</p>	<ul style="list-style-type: none"> •栄養バランスを考えた食事 •食品を必要以上に買わない
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> •手洗い、うがい •適度な運動 •健康診断、予防接種
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<ul style="list-style-type: none"> •教材や未使用文具を寄付
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •家事の分担について話し合う •男性の育児休暇の取得
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<ul style="list-style-type: none"> •水道をこまめに止める •シャワー時間を短くする
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<ul style="list-style-type: none"> •冷暖房の温度を調節 •省エネ家電を選択
<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<ul style="list-style-type: none"> •残業しない •地元のを地元の店で買う
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •オンラインサービスを利用
<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •差別やいじめをしない •国や文化等互いの違いを認めて理解
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> •家の防災対策をする •地域の行事に参加 •ハザードマップを確認
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> •残り食材を活用 •マイバッグを持参
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> •電気をこまめに消す •LED照明を使用 •近場の移動は徒歩で
<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •川にごみを捨てない •プラスチックごみを削減 •環境に配慮した商品を選ぶ
<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •ごみを分別して捨てる •県産材を使う
<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<ul style="list-style-type: none"> •平和に関する記事を読む •地域の問題を知る
<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> •家族や友人等とSDGsについて話す •地域の活動やボランティアに参加

企業・団体 ① 岐阜圏域

リコージャパン 株式会社 岐阜支社

環境と働く人に配慮した
省エネ・創エネの実践オフィス

2018年からSDGsを経営の中心に据えて取り組んでいるリコージャパン。中でも岐阜支社は、グループ初の「ZEB対応の省エネモデル事業所」として、環境と働く人に配慮した事業活動を実践しています。



2019年3月に竣工した新社屋

照明や空調制御システムなど、省エネと太陽光発電による創エネを軸に、自然の力を生かした利便性・快適性・知的生産性の向上を実現した社屋は、第33回日経ニューオフィス賞の

中部ニューオフィス奨励賞を受賞。ワークスタイルの変革をご体感いただくために、全国に展開するLiveOffice空間「ViCreA」の1つとして、2019年3月の開所以来、全国から500社を超える民間企業・地方自治体の皆様が見学に訪れ、SDGsの取組みを広く発信しています。



屋上に設置した太陽光パネル

また、コロナ禍においては、SDGsの実践事例をお伝えする情報誌「月刊TSUNAGU」を岐阜支社にて立ち上げ、県内の各拠点を中心に、SDGsの輪を地域に広げる活動に取り組んでいます。

〒501-0115 岐阜市鏡島南2-13-3 TEL:050-3534-0020

創業 1959年5月2日 代表 支社長 林 徹也
従業員数 149名 業種 商社(事務機器・IT関連)

<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/csr/>



主な目標

- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 13 気候変動に具体的な対策を

企業・団体 ② 岐阜圏域

和光会グループ

医療・介護・福祉事業を通して
広く地域にSDGsを啓発



SDGsプロジェクト

2020年1月にSDGsプロジェクトを発足し、3月にコミットメントを宣言した和光会グループ。病院から在宅に至るシームレスな連携で、「誰もが住み慣れた街で安心して暮らし続けられる持続可能な『SDGs×地域包括ケア』の構築」に取り組んでいます。

地域では介護や認知症の予防教室、在宅医療フォーラムなどを開催し、健康意識の向上やACP(人生会議)を支援・推進しています。また、岐阜県と連携した介護人材の育成や、認知症サポーター養成講座など、多様な普及啓発を実施。独自に発行したSDGs啓発のオリジナルブックレットは、SDGsに着手する全国の医療法人や学校、団体から好評を博し、問い合わせが相次ぎました。

これからも、グループ内外で情報発信や啓発活動を継続し、地域の企業・団体とのコラボレーションによる新たな取り組みや、地域住民を巻き込んだイベント開催に注力していきます。



オリジナルブックレット

〒501-0104 岐阜市寺田7-100
TEL:058-254-8080 (SDGsプロジェクト事務局:058-255-0503)

創業 1925年8月 代表 理事長 山田 豪
従業員数 1,530名 業種 医療・介護・福祉・子育て事業

<https://www.wakokai.or.jp/information/sdgs/>



主な目標

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 11 住み続けられるまちづくりを

企業・団体 ③ 西濃圏域

大垣西濃信用金庫

WEBを活用して
地元企業と地域社会を活性化



地域活性化応援サイト

大垣西濃信用金庫は、SDGsがお客様・地域とともに栄える「三方よし」の経営方針に結びつくとし、2020年3月に「大垣西濃信用金庫SDGs宣言」と取り組み実績を公表しました。その中でも、WEBを活用した地元企業の情報発信に注力し、SNSの公式アカウントを設立し、クーポン機能を利用したBtoCのビジネスモデルを

構築。並行して、地元企業や商品・サービスを紹介する「地域活性化応援サイト」を開設しました。コロナ禍では、大垣商工会議所や大垣ビジネスサポートセンターと連携し、テイクアウト事業を始めた飲食店を紹介する「地域応援テイクアウト・マップ」を掲載するなど、地元企業の紹介を積極的に行っています。

また2020年12月には、静岡県の大垣信用金庫とも連携し、互いの地域や企業を紹介し合う活動もスタート。今後も他地域との連携を拡大し、双方の地域活性化を図ることを目指しています。



遠州信用金庫との連携調印式

〒503-0828 大垣市恵比寿町1-1 TEL:0584-75-6111

創業 1924年12月23日 代表 理事長 栗田 順公
従業員数 531名 業種 金融業

https://www.ogakiseino-shinkin.co.jp/daishin/about_daishin/sdgs.html



主な目標

- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを

企業・団体 ④ 西濃圏域

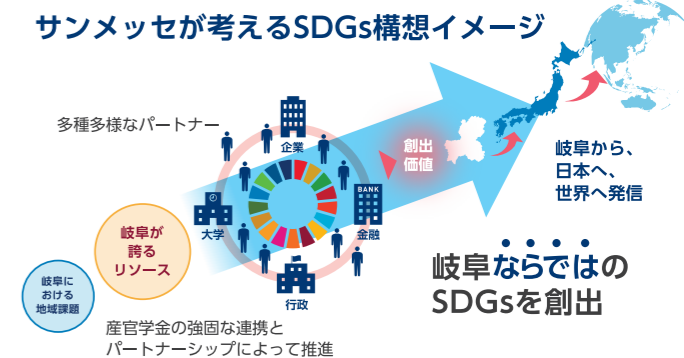
サンメッセ 株式会社

地域のパートナーシップ強化で
社会課題の解決に貢献

2019年5月に「サンメッセSDGs宣言」を表明し、中でも地域における産官学金の自社ネットワークを生かした、パートナーシップ強化を意欲的に実践。2020年9月には、朝日大学とのSDGs連携と協力に関する包括協定を締結し、大学との共創によって、教育を通じた地域活性化や環境保全、次世代育成やレジリエントなまちづくりなど多角的にSDGs達成



朝日大学との調印式



に向けた連携・協力を図っています。今後も、県内のステークホルダーとの共創で、「岐阜ならではのSDGs創出」を追求していきます。

〒503-8518 大垣市久瀬川町7-5-1
TEL:0584-81-9111 (経営企画室:03-3615-2513)

創業 1935年5月10日 代表 代表取締役社長 田中 尚一郎
従業員数 701名 業種 製造業

<https://www.sunmesse.co.jp/sdgs/>



主な目標

- 13 気候変動に具体的な対策を
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう



企業・団体 ⑤

中濃圏域

合同会社 カモケンラボ

環境と働く人に配慮した
省エネ・創エネの実践オフィス



第1回「里山×STEAM MINOKAMO2030 ラボ」 in 加茂農林高校

カモケンラボでは、若い世代が自然と共存し、持続可能なエコシステムを学ぶ場所として、美濃加茂の里山や農村を活用する「里山×STEAM in 美濃加茂」を市などと協働で企画。子どもが大人とともにSDGsの目指す持続可能な社会を考え、地域課題の解決に取り組む実践型の人材育成プロジェクトを進めています。

同プロジェクトは、里山での現場体験と教育ワークショップを組み合わせ、美濃加茂が直面する課題に対し、企業や大学などの先端技術をかけ合わせた解決法を模索。2020年は、加茂農林高校にて「里山×STEAM MINOKAMO2030 ラボ」を開催し、森林科学科2年生の生徒を対象に、AI・自動運転を学ぶワークショップを行い、森林課題で課題となる下草刈りを解決する「下草刈りルンバ」などのアイデアを発想しました。また年間2回、フォーラムを開催し、広く地域住民に発信しています。



里山ラボでの地域活動

〒505-0005 美濃加茂市蜂屋町中蜂屋1327 TEL:0574-26-0648

主な目標

創業 2019年5月 代表 代表 加藤 慎康
従業員数 6名 業種 まちづくり



<https://www.facebook.com/kamokenlab.co>

企業・団体 ⑦

東濃圏域

株式会社 エネファント

日本一電気代の安い街を目指して
新たなEaaS (Energy as a Service) サービスを創出

エネファントは、安価でクリーンな電力の供給と脱炭素社会の構築を目指し、再生可能エネルギー事業と、エネルギーを活用したサービスを提供するEaaS事業に取り組んでいます。カーポート型太陽光発電所「ソーラーチャージャー」、20年間電気代無料の家「フリエネハウス」、電気地産地消でまちや企業の環境目標を支援する「たじみ電力」、EVを活用した通勤専用レンタカー事業「働こCAR」など、多様なサービスを発信し、新たなサービスを生み出す自律的好循環企業を目指しています。

SDGsをミッションの中核に置くことで、社員も社会貢献を担っている意識を持ち、モチベーションアップにつながっています。今後も「日本一電気代の安い街を創る」を目標に、既存技術と最新技術をかけ合わせた新サービスで「ありがとう」の声をいただき、地域とともに発展していきたいとしています。

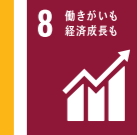


ソーラーチャージャー(カーポート型太陽光発電所)

〒507-0812 多治見市下沢町3-35-1 TEL:0572-26-9336

主な目標

創業 2011年6月 代表 代表取締役 磯崎 顕三
従業員数 17名 業種 電気エネルギー業



<https://enepant.co.jp/>

企業・団体 ⑥

中濃圏域

丸重製紙 企業組合

美濃市の地域課題を解決する
事業の多角化を実践



機械すき美濃和紙メーカーである丸重製紙

丸重製紙は、2009年に会社がある地域の小・中学校が廃校したことで、持続困難な過疎地域であることを認識。さらに、和紙産業も斜陽産業であることから、「美濃と和紙を元気にする」ことを目指し、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を実現する事業をスタートしました。

2017年には、地域電力会社「みの市民エネルギー株式

会社」を、翌年にはまちづくり会社「みのまちや株式会社」を設立。美濃市内には、古民家ホテル「NIPPONIA美濃商家町」や「和紙専門店Washi-nary」をオープンするなど、地域や産業の課題解決をソーシャルビジネスのチャンスとし、多様な企業とのパートナーシップで事業の多角化を実現しています。今後も、サテライトオフィス・シェアオフィス事業や、食料自給率向上や耕作放棄地の活用を図る農業事業、山間部への宅配事業など、幅広い事業展開に意欲を見せています。



和紙専門店Washi-nary

〒501-3784 美濃市御手洗464 TEL:0575-37-2329

主な目標

創業 1951年2月 代表 代表理事 辻 晃一
従業員数 6名 業種 製造業



<https://www.marujyu-mino.com/sdgs>

企業・団体 ⑧

東濃圏域

株式会社 JTECT

パートナーシップの構築で
クリーンなエネルギーを普及



ソーラーシェアリング

情報通信網構築事業と電気設備工事事業を融合した、総合省エネルギー事業を展開するJTECTは、再生可能エネルギーの持続的な普及を進める中で、SDGsに取り組むことで社会貢献と自社の成長を目指しています。中でも、特にゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」を意識し、「光ネットワーク協同組合」や「新エネルギー革命会」

など、さまざまな団体に加入。多くのパートナーシップを構築し、同社が取り組む「低炭素社会」と「再生可能エネルギー100%」という目標達成に励んでいます。

同社では、SDGsの取組みを通して、社内の無駄な業務や環境破壊につながることをなくそうという意識改革ができ、意義を実感。今後も地球温暖化の防止など地球環境の保護を目指し、よりクリーンなエネルギーを供給できるよう、供給側と導入側の双方に協力できる事業を推進していく姿勢です。



可児市太陽光発電所

〒509-6103 瑞浪市稲津町小里2160-1 TEL:0572-67-1122

主な目標

創業 1990年9月 代表 代表取締役 石岡 義人
従業員数 21名 業種 電気工事業・電気通信工事業



<https://jtect.co.jp/sdgs/>



企業・団体 9 東濃圏域

一般社団法人 アツいまち

暑さを活用した地域活性化

アツいまちは、「アツいまちを住みよくするために私たちができること」を理念に、暑さという地域資源を生かし、産業の活性化につなげる活動をしています。

年に1度、多治見市・熊谷市・四万十市・山形市など、日本有数のアツいまちが集まり、暑さと地域資源を活用した取組みを実行する「アツいまちサミット」



第6回アツいまちサミット2019in熊谷

は、2020年6月の開催で7回目を迎えました。来年度は、浜松市もメンバーに加わり、連携の輪を広げています。サミットでの取組み

は、「新しい資源の発掘および再発見」「暑さ対策をテーマにした仲間づくり」「商品開発による地域の経済成長」にも寄与しています。当団体は、こうした取組みを通じて、暑さを課題だけではなく、地域資源と捉え、資源を活用した地域活性化を、波及していきたいとしています。



リモート開催の第7回アツいまちサミット

〒507-0033 多治見市本町3-25 TEL:0572-23-2636

創業 2019年5月 代表 代表理事 中島 雄平
従業員数 5名 業種 地域活性化業

<https://www.atsui-machi.com/>



主な目標



企業・団体 10 飛騨圏域

笠原木材 株式会社

地元の木材や技術を生かして 森を守り、人と社会に貢献



地元の木を使った家づくり

2020年6月にSDGs宣言を行った笠原木材(株)では、森林施業プランナーによる森林経営計画の実施や、紙原料やバイオマス燃料への未利用木材の有効利用など、森を守る事に取り組んでいます。住宅についても、国産材100%など自然素材にこだわり、飛騨の匠の技を生かして、エネルギー消費に配慮した環境負荷の少ない住宅(かさ

はらの家)の提供を心がけています。協力会社が集う「かさほら会」や環境に配慮した木の住まいをつくる団体など、多くの人と共働り、木材を生かす仕事を通じて、森・人・社会への貢献を目指しています。

また、木育や食育など、衣食住に関するさまざまなイベントを企画し、木の良さや自然と調和したライフスタイルを提案。今後は、燃料として利用できる林地残材をさらに集荷できるよう工夫し、木材以外の自然素材の研究を進めながら、環境負荷の低減を推進することを目標としています。



バイオマス燃料の生産

〒509-3206 高山市久々野町山梨69-1 TEL:0577-52-2525

創業 1957年7月 代表 代表取締役 山田 貴敏
従業員数 25名 業種 建築業・木材業

<http://www.kasahara-net.jp/SDGs.html>



主な目標



企業・団体 10 飛騨圏域

株式会社 Edo

SDGsは自分の世界を広げるもの ワークショップで「対話と協働」を



SDGs de 地方創生カードゲーム

Edoでは、2019年にSDGsカードゲームファシリテーターの資格を取得。ゲームを通して、SDGsの考え方がどう地域創生に繋がり、その推進にはどんな姿勢が大切かを参加者全員で考えるイベントを行っています。

また「実際に活動し、変化を起こしていくには具体的に何ができるのか?」という問いを持つ人たちに役立つ新しいプログラム「SDGs de 未来構想(issue+desing(東京

都)開発)」も取得。このワークは、社会や地域の課題を掘り下げアクションを考えるもので、①課題の全体を掴む②分岐点を見極める③幅広くアイデア発想④具体的なシナリオを描く、という基本を元に、対象に合わせカスタマイズして行います。

現在は、学校現場(特に探究学習)で活用できるよう、教員向けのワーク開発に取り組んでおり、2021年夏頃リリース予定です。Edoのミッションである「教育を通じて豊かな社会を創造する」を実現するために、面白い学びを通じてSDGsの達成に貢献していきます。



SDGs de 未来構想ワークショップ

〒509-4232 飛騨市古川町大野町145-1 TEL:080-1895-9133(副代表 盤所)

創業 2019年4月 代表 代表取締役 関口 祐太
従業員数 2名 業種 教育支援業

<https://www.facebook.com/educationdo>



主な目標



企業・団体 10 飛騨圏域

飛騨SDGs研究会

地域のパートナーシップ強化で 社会課題の解決に貢献



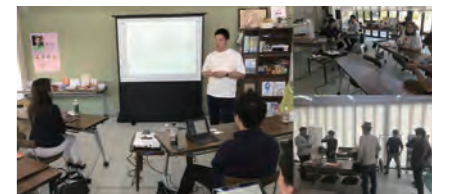
研修会風景(SDGs de 地方創生カードゲーム)

飛騨SDGs研究会は、市民活動としてSDGsの啓蒙・普及活動を取り組むため、2019年3月に発

足。同年7月には、高山市市民活動団体に登録しました。同会では毎月1回、県外より講師を招いてSDGsカードゲームでSDGsの基本を学ぶ勉強会や、SDGsに取り組む企業による事例勉強会を開催。その様子を、SNSで情報発

信しています。その結果、地方創生に興味・関心のある市民に、SDGsの意義や役割を正しく理解してもらおうきっかけができ、他のNPOや市民活動団体との連携や、市の政策に対する意見交換などにもつながっています。

今後は飛騨地区以外のSDGs関連団体との交流を市民にフィードバックし、さらに啓蒙活動を拡大。市政の事業評価をSDGsの視点で進めることを働きかけたり、教育現場でもSDGsの理解を深め、子どもたちへの啓蒙に努めたりと、幅広い活動の展開を目指します。



研修会風景(SDGs取組み企業の事例研究)

〒506-0055 高山市上岡本町4-461 TEL:080-5466-2354

創業 2019年3月 代表 代表 荒川 治
会員数 172名 業種 市民団体登録団体

<https://www.facebook.com/hida.sdgs>



主な目標





教育機関 ①

岐阜圏域

朝日大学

幅広い世代の地域住民に生涯学習と教育の機会を提供



社会人対象の公開講座

朝日大学では、地域の生涯学習振興や日頃の研究成果を社会へ還元することを目的に、社会人対象の公開講座や、学生向けのコンクールや教育プログラム、高校教員

に対するセミナーや研究会など、幅広い世代に多彩な講座や学びの場を提供。地域の課題解決や活性化を図る取組みを積極的に展開しています。

また2020年9月には、同大学の知的財産や医療提供環境を活かした、産学官連携の新たな形として、サンメッセ株式会社とSDGs連携活動を展開する包括協定を締結。さらに瑞穂市や岐阜県とは、災害発生時に一時避難所として施設を提供する協定を結んでおり、2020年10月には「朝日大学ボランティア支援センター」を設立して、災害時や地域活動時に学生ボランティアの派遣や支援を一元的に行う体制を整備。こうした取組みを通じ、さらなる地域連携・地域貢献を目指しています。



高等学校簿記会計教育連携プログラム

〒501-0296 瑞穂市穂積1851-1 TEL:058-329-1111 (代表)

創立 1971年4月 代表 学長 大友 克之

https://www.asahi-u.ac.jp/topics/2019/3634/



主な目標



自治体 ①

飛騨圏域

高山市

飛騨高山の町家建築を舞台とした若者によるまちの未来づくり



「村半」高山市若者等活動事務所

飛騨地域には4年制大学がなく、若者が進学のため故郷を離れること等による人口減少が深刻な課題となっています。このため、まちなかの大規模な町家建築を公有化し、若者による地域活性化のための拠点施設「村半」として改修整備しました(令和2年7月1日開所)。「村半」では、市内外の若者が地域の魅力に触れ、様々な

活動を通じて飛騨高山への誇りと愛着を育むほか、訪問者の満足度向上などによる「関係人口」の獲得を目指しています。



ひだ!高校生会議

整備に際しては、地元高校生をはじめ多くの市民が参画し整備内容等を協議したほか、高校生による家具製作や題字揮毫、伝統工芸士や建物縁者による創作など幅広い官民連携を図りました。

開所後は、「ひだ!高校生会議」や「飛騨ジモト大学」をはじめ若者団体の活動拠点、日常的な居場所となるなど、学校や年齢を超えた交流の輪が広がっています。

〒506-8555 高山市花岡町2-18 TEL:0577-32-3333 (代表)

担当課 高山市 企画部企画課

「村半」 〒506-0842 高山市下二之町6番地 TEL:0577-70-8753

https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1008717/1011761/index.html



主な目標



教育機関 ②

西濃圏域

岐阜県立 大垣工業高等学校

SDGsの視点を有するグローバル人材育成プロジェクト



SDGs推進委員会構成員の授業実践

グローバル教育の新たな視点導入を模索していた大垣工業高校では、平成29年度にESDやSDGs推進を担う国際理解教育係を設置し、令和元年度からは「SDGs推進委員会」を構築。1・2年を中心に、SDGsについて各クラスで発表会を実施するなど、授業にもSDGsの視点を取り入れるほか、SDGsを題材にした「校内プレゼ

ンテーション大会」や「SDGs講話」などを開催。文化祭で「SDGsスタンプラリー&クイズ」を行ったり、美術部がSDGs活動啓発ポスターを作成して掲示したりと、生徒・教員だけでなく、来校者への啓発も積極的に行っています。

こうした取組みの結果、SDGsを認識する生徒は増加。企業がSDGs活動を活発化する中、7割以上の生徒が就職を選択する同校では、今後も積極的に教育活動へSDGsを取り入れ、地域や企業、他校との連携・協働する取組みも増やしていきたいとしています。



校内プレゼンテーション大会

〒503-8521 大垣市南若森町301-1 TEL:0584-81-1280

創立 1926年4月 代表 学校長 浦山 朋征

https://school.gifu-net.ed.jp/ogaki-ths/



主な目標



自治体 ②

中濃圏域

美濃加茂市

最上位計画とSDGsの推進で創る歩き続けるまち



Walkable City Minokamo 第6次総合計画ロゴ

美濃加茂市では、これまで各部署が個別でSDGs推進に取り組んでいましたが、令和2年4月にスタートした第6次総合計画「Walkable City Minokamo」は、SDGsとの関連性が高いことから、全庁的に取り組む状況となりました。

第6次総合計画は、50年先100年先にわたって、誇りと愛着を持って住み続けられるまちにするために、市民・団体・企業・市役

所が一体となって「歩き続ける」ことを共通目標としています。「健康」をテーマに心・体・社会の健康を整えることを目指し、6つのまちづくり宣言として、「健康増進」「女性若者活躍」「多文化共生」「産業振興」「地域再生」「防災減災」を掲げ、各事業を実施しています。職員がSDGsをより自分事と捉えるために、令和2年7月には、職員による「みのかもSDGs推進宣言」を行い、全職員を対象にSDGsの理解を深める研修を実施して意識を高めています。



職員を対象に行ったSDGs研修会

〒505-8606 美濃加茂市太田町3431-1 TEL:0574-25-2111 (代表)

担当課 美濃加茂市 産業振興部 産業振興課

https://www.city.minokamo.gifu.jp/shimin/



主な目標





自治体 ③ 西濃圏域

揖斐川町

「自然健幸のまち いびがわ」をローカルSDGsで実現



徳山湖と徳山ダム

人口減少や少子高齢化が急速に進む中、揖斐川町では、持続可能な自治体経営の視点を持つため、「揖斐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」にSDGsを取り入れました。SDGsを地方創生の共通言語とすることで、民間事業者・町民・NPOなどのステークホルダーとの連携を促進し、町独自の環境・社会・経済の課題や実現した

いビジョンを議論・共有。その上で、持続的な地域社会への変化を生み出す「ローカルSDGs」を実践し、「自然健幸のまち いびがわ」の実現を目指しています。

さらに今後は、町に住み続けたいと思う層や住んでみたいと思う人を拡大し、子どもを主体とした暮らしや、住んでよかったと実感できる地域づくりに注力。コロナ後の新しいライフスタイルでも、まちの魅力を増大させ、広域連携による圏域の新たな魅力創生にも取り組む姿勢です。

いビジョンを議論・共有。その上で、持続的な地域社会への変化を生み出す「ローカルSDGs」を実践し、「自然健幸のまち いびがわ」の実現を目指しています。



さざれ石公園

〒501-0692 揖斐郡揖斐川町三輪133 TEL:0585-22-2111(代表)

担当課 揖斐川町 企画部 政策広報課



https://www.town.ibigawa.lg.jp

主な目標



自治体 ④ 中濃圏域

七宗町

新たな特産品をプロデュースし、荒廃した茶園や里山を整備



特産品化した三年晩茶

七宗町では、急速な過疎・高齢化で野生動物と人の緩衝地帯だった里山が荒廃。特に多くの茶園が、茶業の衰退や後継者不足で耕作放棄地となり、有害鳥獣の住処となっています。そこで、持続可能な里山整備を図るため、令和元年度から「三年晩茶特産品化事業」に取り組み始めました。

三年晩茶は、自然栽培で3年以上成長させた茶木を根

元から刈り取り、葉や枝を粉碎。茶木は、加茂圏域の里山整備による薪を燃料として焙煎するため、里山と耕作放棄茶園両方の整備が可能となり、地域住民の雇用も創出しています。また、地域の学校で消費することで、里山に対する子どもたちの意識向上にもつなげています。七宗町は、この事業で持続可能な里山整備サイクルを確立し、日本全体の里山が活力を取り戻せるよう、SDGs実現のモデル事業として発信することを目指しています。

元から刈り取り、葉や枝を粉碎。茶木は、加茂圏域の里山整備による薪を燃料として焙煎するため、里山と耕作放棄茶園両方の整備が可能となり、地域住民の雇用も創出しています。また、地域の学校で消費することで、里山に対する子どもたちの意識向上にもつなげています。七宗町は、この事業で持続可能な里山整備サイクルを確立し、日本全体の里山が活力を取り戻せるよう、SDGs実現のモデル事業として発信することを目指しています。

元から刈り取り、葉や枝を粉碎。茶木は、加茂圏域の里山整備による薪を燃料として焙煎するため、里山と耕作放棄茶園両方の整備が可能となり、地域住民の雇用も創出しています。また、地域の学校で消費することで、里山に対する子どもたちの意識向上にもつなげています。七宗町は、この事業で持続可能な里山整備サイクルを確立し、日本全体の里山が活力を取り戻せるよう、SDGs実現のモデル事業として発信することを目指しています。



茶木刈り取りの様子

〒509-0492 加茂郡七宗町上麻生2442-3 TEL:0574-48-1111(代表)

担当課 七宗町 農林課



https://www.hichiso.jp/

主な目標



自治体 ⑤

「SDGs未来都市」岐阜県

2030年のあるべき姿 自然と人が創り出す世界に誇る「清流の国ぎふ」

豊かな自然の保全と活用や、「ぎふブランド」の創出、そして多様な人材の活躍促進など、環境、経済、社会の三側面において様々な施策を「オール岐阜」で進めることにより、地域の魅力と活力を生み出し、持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを目指します。



岐阜県未来都市計画 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/26370.html>

SDGsの推進に資する取組み



環境

美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

- 環境保全の推進
- 次世代エネルギーの導入促進
- 災害から命を守る対策の推進

経済

世界に誇る「ぎふブランド」の創造と発信

- 「ぎふブランド」の創造と発信
- 各分野への未来技術の導入

社会

「清流の国ぎふ」の未来を担う人づくり

- 女性の活躍推進
- ぎふ木育の推進
- ふるさと教育の展開
- SDGs推進の理解醸成と推進体制の構築など

「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク 2020年4月15日設立 会員数 557

岐阜県では、SDGsの達成に向けて「オール岐阜」で取り組むため、県内の企業や団体、NPO、個人など多様な主体が連携するネットワークを設置しています。皆様、是非ご参加ください。



事務局 岐阜県清流の国推進部清流の国づくり政策課内 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/94353.html>

1 情報発信・情報共有

- 会員向けメールマガジンの配信(月2回)
- 県ホームページ上に会員の取り組みやお知らせを掲載



2 普及啓発

- 会員向けセミナーの開催
- 地域情報誌への啓発記事掲載
- ポスター・リーフレットの作成



3 会員間連携マッチング支援

会員の目標や課題に対して、他の会員から提案を募集することにより、会員間の連携を促すマッチング支援体制を構築

